

平成 20 年 9 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が堅調なものの、生産活動は一進一退で、個人消費が不冴えとなるなど、全体では停滞感を強めている。

生産活動は、食料品関連の一部が伸び悩んでいる。個人消費関連は、新車（乗用車・軽自動車）販売が前年を下回り、大型小売店（百貨店・スーパー）販売はほぼ横ばい。投資関連では、住宅着工戸数及び民間建築工事が前年を上回ったものの、公共工事が前年を下回り総じて低調。その間、観光入り込み客数は全地区で前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産が堅調に推移している。一方、カラーLCD（液晶ディスプレイ）は持ち直しつつある。

8月の**生コン**生産は、公共工事向け、民間工事向けともに前年を下回った。

8月の**紙パルプ**生産は、前年と同水準となった。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

8月の**大島紬**生産は、前年比23.6%減となり、減反基調に変化は窺えない。

焼酎は、引き続き高水準で推移しているものの、出荷が伸び悩み、生産はややかげりを見せ始めている。

7月の**かつお節**生産は、9か月連続で前年を上回った。

【畜産関連】 ... 畜種により明暗分ける

肉用牛（和牛）の枝肉相場は需要の低迷から前年を下回り、子牛価格も前年を下回っている。豚肉相場は前年並みの水準で推移している。一方、ブロイラー相場は堅調に推移しており、鶏卵相場は生産調整による供給減等により前年を上回る水準で推移している。

【消費関連】 ... 不況

7月の百貨店売上げは、衣料品は引続き低調であるものの食料品売上が伸び、ほぼ前年並みとなった。一方、7月のスーパー売上げは、2.2%増と前年を上回った。

8月の乗用車販売台数は、11.8%減と2か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は20.9%減と今年に入り初めての減少となり、小型車も6.8%減と前年を下回った。また、軽自動車販売台数も5.8%減と2か月ぶりに前年を下回った。

【観光関連】 ... 堅調

8月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比5.1%増となった。休日のめぐりもよく、台風発生もないなど天候等に恵まれた。地区別にみても、全地区で前年を上回った。また、種子島・屋久島地区も、6か月連続で前年を上回り、堅調に推移した。この間の主要観光施設入場者数も、大半が前年を上回った。

【投資関連】 ... 総じて低調

8月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

7月の民間建築工事は、棟数、床面積、工事費予定額の全てで前年を上回った。

7月の新設住宅着工戸数は、前年の建築基準法改正による減少の反動により、前年比94.1%増となった。利用関係別では、持家、貸家が25.6%、69.3%の各増となり、分譲が6.8倍の大幅増となった。

8月の主要建設資材卸売業者の売上げは、2か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】...輸出、輸入共に前年を上回る

7月の**輸出額**は、半導体等電子部品や液晶表示板等の科学光学機器が前年を下回ったものの、ゴム製品が前年を上回ったこと等により、全体では11.7%増と2か月連続で前年を上回った。**輸入**は原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を上回ったことから、全体では71.4%増と10か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】...足踏み

7月の有効求人倍率は、前月を0.02ポイント下回る0.55倍となり、雇用情勢は足踏みしている。

【金融情勢】...伸び悩み

資金需要は、住宅ローンが堅調なもの、企業の設備資金や運転資金は伸び悩んでいる。

【企業倒産】...件数、負債額ともに前年を上回る

8月の**企業倒産**は、件数が11件と前年同月(10件)を上回り、負債額も大型倒産の発生により75億5,100万円と前年同月(62億800万円)を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株鹿兒島地域経済研究所(099-225-7491)